

成果指標 2. 高速ネットワーク（いしかわ広域交流幹線軸）確保率

細長い県土を一体化する広域交流・地域連携の交通基盤づくりと観光面での周遊性の向上を図る幹線道路網の整備が求められています。このため、高速ネットワークの確保率を示す成果指標として、ダブルラダー指定路線の整備済み延長の割合を採用しています。

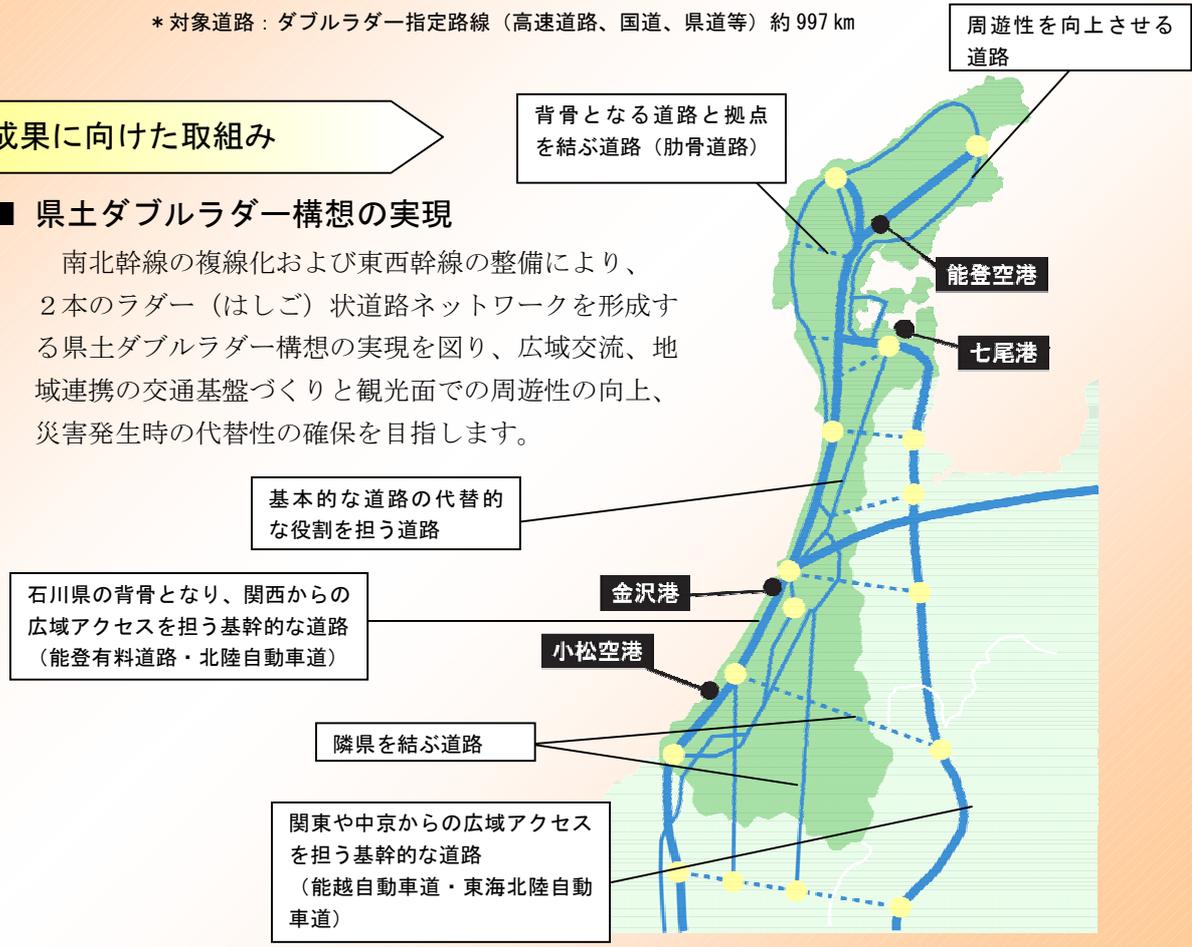
$$\text{高速ネットワーク確保率} = \frac{\text{ダブルラダー指定路線の整備済み延長}}{\text{ダブルラダー指定路線の総延長}}$$

* 対象道路：ダブルラダー指定路線（高速道路、国道、県道等）約 997 km

成果に向けた取組み

■ 県土ダブルラダー構想の実現

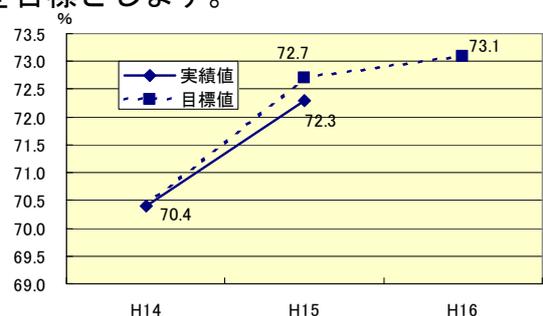
南北幹線の複線化および東西幹線の整備により、2本のラダー（はしご）状道路ネットワークを形成する県土ダブルラダー構想の実現を図り、広域交流、地域連携の交通基盤づくりと観光面での周遊性の向上、災害発生時の代替性の確保を目指します。



成果指標の動向

- 高速ネットワーク確保率は、平成 14 年度の 70.4% (702.3km) から、平成 15 年度の 72.3% (721.1km) へと 1.9% (18.8km) 増加しましたが、目標を若干下回りました。
- 平成 16 年度は、高速ネットワークの効果的・効率的な整備等により、平成 14 年度実績から 26.8km (2.7%) の増加を目標とします。

平成 14 年度の実績		70.4% (702.3km)
平成 15 年度	計画	72.7% (724.8km)
	実績	72.3% (721.1km)
平成 16 年度の目標		73.1% (729.1km)



達成度報告（平成 15 年度の成果）

■ 平成 15 年度に供用した主な箇所

路線名	区 間	延 長	整備内容
①北陸自動車道	金沢森本 I C	—	I C 新設
②国道 8 号金沢東部環状道路	金沢市梅田町～金沢森本 I C	2.1km	新設（バイパス）
③国道 249 号大谷道路	珠洲市若山工区	1.6km	新設（バイパス）
④国道 304 号月浦バイパス	金沢市堅田町～不動寺町	1.1km	新設（バイパス）
⑤国道 364 号大内道路	山中町大内～我谷	1.7km	新設（バイパス）
⑥珠洲道路（（主）内浦柳田線）	柳田村中斉・神和住	1.1km	拡幅
⑦能登中核工業団地線（（主）志賀富来線）	志賀町赤住～富来町福浦港	1.8km	新設（バイパス）
⑧南加賀道路（（一）高塚粟津線）	小松市矢田野～馬場	1.5km	新設

⑦能登中核工業団地線



③国道 249 号大谷道路



②国道 8 号金沢東部環状道路



⑥珠洲道路



④国道 304 号月浦バイパス



①北陸自動車道金沢森本 I C



VOICE (利用者の声)

観光立県の大きな支えに 能登半島広域観光協会理事長 小田 禎彦 氏

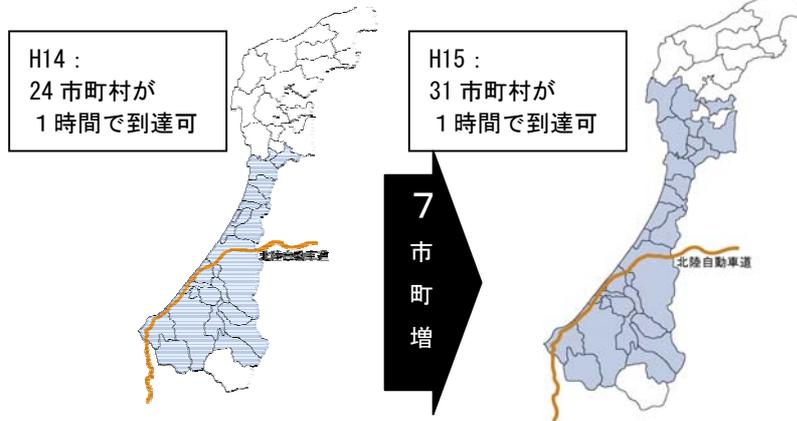


県外の方から「能登に行きたいが、不便で」と言われるたびに、もどかしい思いをしてきました。金沢東部環状道路等の開通により、北陸道から能登有料道路へと道に迷わず、しかも18分も速く行けるようになり、金沢から和倉温泉まで約45分に短縮されました。

速く能登に着けば、能登で過ごす時間が増え、輪島や和倉温泉だけでなく、能登各地を訪れる人が再び増えるでしょう。20年前には、七尾金沢1時間圏構想を目指していたことを思うと感無量です。

■ 高規格幹線道路10への1時間アクセス市町村の増加

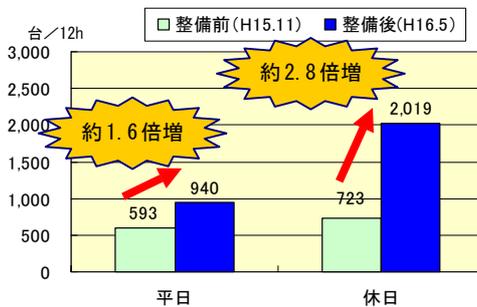
金沢東部環状道路及び津幡バイパス等の開通により、最寄りの高規格幹線道路のインターチェンジまで1時間で到達できる市町村の数が、7市町増加しました。



■ 越前・加賀の広域連携と地域経済の活性化 (国道364号大内道路の整備効果)

① 県境を越える地域交流を促進

国道364号大内道路の整備により、大内峠の交通難所区間が解消された結果、交通量が供用前に比べ平日では約1.6倍、休日では約2.8倍に伸び、特に5月の連休中は、4,610台/12hの交通が観測されました。



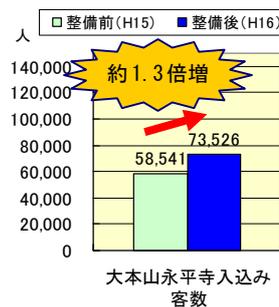
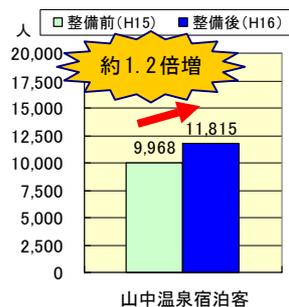
バスを含む交通量が大幅に増加

② 重症救急患者の救命率の向上

山中町と福井大学医学部附属病院との間で、新たに救急医療活動に関する協定が締結され、これまでは金沢市へ約60分かけて搬送していたケースが、約20分の搬送時間で済むようになりました。重症救急患者の救命率の向上など、期待を上回る効果も生まれています。

③ 地域経済 (観光) が活性化

5月連休中の山中温泉の宿泊客数が約1.2倍、5月の永平寺の入り込み客数が約1.3倍増え、観光を中心とした地域産業の活性化が図られました。



業績計画（平成 16 年度の取組み）

■ 平成 16 年度に供用を予定している主な箇所

路線名	区間	延長	整備内容
①国道 249 号小垣道路	能都町柿生～小垣	0.7km	新設（バイパス）
②金沢外環状道路（海側幹線）	金沢市福増～戸水	4.2km	拡幅（2→4 車線）
③珠洲道路（（主）内浦柳田線）	柳田村寺分	0.3km	拡幅
④（主）金沢井波線	金沢市角間～小二又	0.7km	新設（バイパス）
⑤加賀産業開発道路（（主）金沢小松線）	小松市軽海	0.7km	拡幅

各市町村（役場）からのアクセスが拡大

● 各市町村から高規格幹線道路 IC へのアクセス

平成 20 年代中頃までに、すべての市町村（役場）から、最寄りの高規格幹線道路インターチェンジへ 1 時間で到達できることを目指しています。

現在

H15：
31 市町村が
1 時間で
到達可



将来
H20 年中頃

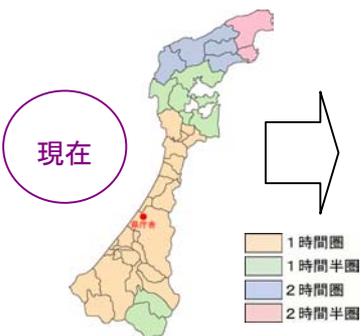
将来：
全市町村が
1 時間で
到達可



● 各市町村から県都金沢（県庁）へのアクセス

平成 20 年代中頃までに、県庁から各市町村（役場）までの所要時間 2 時間以内のカバー人口を 100%とすることを目指しています。

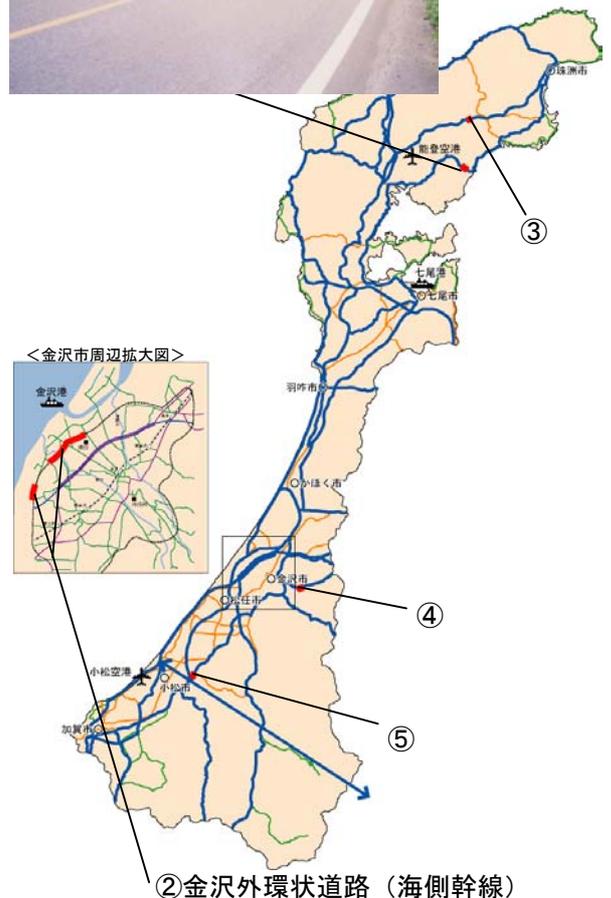
現在



将来
H20 年中頃



① 国道 249 号小垣道路



② 金沢外環状道路（海側幹線）

